

電気通信大学 平成18年度シラバス

| | | | |
|---------|-----------------------|----------|-------|
| 授業科目名 | 電気・電子回路学第一演習 | | |
| 英文授業科目名 | | | |
| 開講年度 | 2006年度 | 開講年次 | 2年次 |
| 開講学期 | 3学期 | 開講コース・課程 | 昼間コース |
| 授業の方法 | | 単位数 | 1 |
| 科目区分 | 専門科目-学科専門科目- | | |
| 開講学科・専攻 | 量子・物質工学科 | | |
| 担当教官名 | 安井 正憲、中村 信行 | | |
| 居室 | 東6-936(安井)、西7-605(中村) | | |

| | |
|----------------------------|------------|
| 公開E-Mail | 授業関連Webページ |
| 中村信行(F1クラス) 安井正憲(F2クラス) | |

| |
|-----------------------------------|
| 【主題および達成目標】 |
| 電気・電子回路学第一で学ぶ内容について、講義と平行して演習を行う。 |

| |
|-------------------------|
| 【前もって履修しておくべき科目】 |
| 電気・電子回路学第一（同学期に開講されている） |

| |
|------------------------------|
| 【前もって履修しておくことが望ましい科目】 |
| なし |

| |
|---|
| 【教科書等】 |
| 演習問題は随時プリントを配布する。 参考書：基礎電気回路 内藤喜之著 昭晃堂 その他 多くの「電気回路」に関する書籍が図書館に所蔵されている。 自分に合ったものを探して参考書とすればよい。 |

| |
|--|
| 【授業内容とその進め方】 |
| 電気・電子回路学第一の講義とほぼ連携した内容について、演習内容の簡単な補足を行い、演習問題を解いていく。 (0) 復習 |

電気通信大学 平成18年度シラバス

電荷、電流、電位、等

(1) 直流回路

オームの法則、キルヒホッフの法則、重ねの理 等

(2) 交流回路

複素数表示、回路素子の性質、色々な回路、一般回路の定理 等

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

100%近い出席が必要条件(しかしそれだけでは十分条件ではない)である。

遅刻しないようにすること。

成績は演習の解答やレポートまたはテストなどから総合して判定する。

レポートの提出期限を守ること。また再提出するよう指示された場合は必ず提出すること。

【オフィスアワー：授業相談】

随時(あらかじめメールなどで連絡しておくこと)

【学生へのメッセージ】

電通大の学生として電気・電子回路学の知識は必須のものと

心得てほしい。講義で学んだ内容を自分のものとするには、

相当の努力が必要であり、この演習でさらに理解を深めてもらいたい。

【その他】